

答

①福山市域における浸水対

問 ①市民からの声や昨今の気象状況を踏まえ、低平地の市街地に対する、今後の浸水対策についての考えは。
②市民の命を守る緊急避難場所周辺の浸水について不安の声が上がった。本市の受け止めは。

抜本的な浸水対策は



千葉 けんじ
(60分)
水曜会

答

①全35事業のうち、今年度

問 ①計画の進捗状況は。
②川南地区の下水道整備は。
③神辺町から加茂町や駅家町などをバス路線で結ぶことで、市北部の回遊性や利便性の向上につながると思うが、考えは。



加藤 一郎
(55分)
水曜会

福山市・神辺町合併建設計画と今後のまちづくりは

で30事業が完了となる見込みで、計画期間を超える事業は引き続き着実な推進に取り組んでいく。
②区画整理事業の進捗に合わせて進めており、今年度中におおむね完了する見込みである。区画整理区域外の地域については、地域住民の接続要望に基づき取り組んでいく。
③神辺駅を基点としたバス路線の新設により、公共交通ネットワークが強化され渋滞の緩和や人出が喚起されることによる地域の活性化が期待できると考えている。今後、本格運行の可能性を検討する。

策協議会で取りまとめた行程表に基づき、長期対策として、内水排除対策を着実に進めていく。併せて、既存の雨水排水施設についても、公共下水道ストックマネジメント計画に基づき、改築、更新を進めていく。
②重要な課題として認識しており、実態を把握する中で、地域特性に応じた対策を検討し取り組んでいく。



答 ①今年7月の広場協議会でJR西日本から、一部解体後の建

問 ①福山駅南口の全面広場化および北口バスターミナルの整備計画が事実上見送りという結果に至った理由は。
②今後の駅前再整備をどのような方向性で進める予定か。

福山駅前再整備は



貝原 大和
(45分)
誠友会

答

しおまち海道に多くのサイ

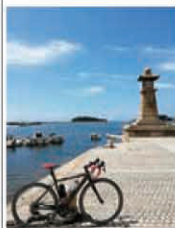
問 福山駅スタートのしおまち海道を整備した。福山まで、のぞみで来て在来線に乗り換えて尾道のしまなみ海道に向かう多くのサイクリストを、福山駅スタートに変更していただきたい。PRの状況は。

※しおまち海道のPRは



大田 祐介
(65分)
水曜会

クリストに訪れていただくためには、しまなみ海道との一体的な利用や、その起点としての役割を福山駅が担っていることをしっかりとPRしていくことも重要と考えている。昨年12月に設置した国、県、市などで構成する鞆の浦しおまち海道サイクリングロード協議会において、将来のナショナルサイクルートの指定を見据え、官民協働による環境整備や機運醸成、効果的なPRに取り組んでいく。



写真提供 福山観光コンベンション協会

物の構造や設備の移転先などについて、現時点では課題の解決策が見いだせないという説明があったため当面見送ることとしたもの。
②議論の焦点を駅前広場の在り方に絞った上で、ふくまちはロバラボでの議論やさまざまな団体との意見交換を行う。11月に開催予定の広場協議会で新たな計画案を示し、その後必要に応じて市民の皆さまのご意見を聞きながら、年度内に基本計画を取りまとめていく。



現在の福山駅前南口

※しおまち海道：福山駅から境ガ浜（福山市内）までを結ぶ片道約27キロメートルのサイクリングロードであり、初級者から中級者向けのコースがある。